



西山まちづくり計画

～ホタルやトンボが飛びかう 美しい丘づくりにむけて～



目次

はじめに	1
わがまちの概要	2
わがまちへの思い	8
まちづくり計画	11
道路・交通	12
緑と水辺	17
住環境	21
交流の場づくり	24
自治会長からのひとこと	27
資料一1～3（規約、策定委員会名簿、策定の主な経緯）	31
資料一4 西山小学校区 まちづくり課題マップ	35

2005（平成17）年3月

西山まちづくり計画策定委員会

はじめに

コミュニティ西山では市民と行政による協働のまちづくり計画策定の議題を受け、平成14年度から3か年かけて、さまざまな角度から地域内の見直しをしてまいりました。できるだけ多くの住民の方に参加していただきながら、地域の良いところや問題を抽出、又地域限定の歴史を調べるなどをして関心を深めてまいりました。平成16年度総まとめとして7月に策定委員会を立上げ、地域内のあらゆる団体の方々に参加していただき、再度アンケートをとりながら、ここに具体的な案件を提案させていただきました。

地域住民の方々には、この計画書にご理解をいただき、今後住民主体、あるいは協働のまちづくりの考え方のもと、ご協力くださいますようお願い申し上げます。恵まれた環境をこれからも大切にしつつ、人と人がふれあい安心して住み続けたいまちを目指していきたいと思います。

なお、計画書作成に当たりましては自治会をはじめ地域内各団体の方々、宮本三恵子さまはじめアドバイザーの方々にはご指導、ご協力いただき誠にありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。

西山まちづくり計画策定委員会
委員長 大崎裕子





わがまちの概要



1. 人口

西山小学校区（コミュニティ西山の区域）には、約3,800世帯、9,200人が暮らしています。過去5年間に人口は約100人、世帯数は約200増加しています。千種1丁目、千種3丁目の人口の伸びが多く、野上6丁目の減少が目立っています。

西山小学校区の世帯数・人口

面積 ヘクタール	平成16年12月末現在				平成11年12月末現在			
	世帯数	人口	男性	女性	世帯数	人口	男性	女性
	世帯数	人	人	人	世帯数	人	人	人
千種1丁目	10.8	388	1,014	472	542	294	768	356
千種2丁目	10.2	199	442	205	237	177	422	190
千種3丁目	8.9	294	736	335	401	241	611	283
千種4丁目	11.2	337	872	398	474	327	864	416
野上3丁目	10.5	327	811	361	450	378	890	444
野上4丁目	12.2	497	1,163	495	668	456	1,204	533
野上5丁目	8	268	719	343	376	243	690	327
野上6丁目	13.8	858	1,903	868	1,035	846	2,106	997
宝梅2丁目	14.7	475	1,270	583	687	456	1,301	607
宝梅3丁目	6.7	120	315	150	165	108	292	141
合計	107.0	3,763	9,245	4,210	5,035	3,526	9,148	4,294
								4,854

(注：この他、西山小学校区には、社町、塔の町の一部が含まれています)

年齢別の人口構成を宝塚市全体と比較してみると、30歳代以下の若い世代の割合が少なく、60歳代以上の世代が多くなっています。地域によっては65歳以上の人口が25%を超えています。

西山小学校区の年齢別人口（平成16年12月現在）

	総数	(単位：人)							
		0～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	65歳以上
宝塚市	221,225	32,342	43,135	26,450	36,321	27,653	32,575	28,291	39,520
	100.0%	14.6%	19.5%	12.0%	16.4%	12.5%	14.7%	12.8%	17.9%
西山コミュニティ	9,245	1,191	1,613	940	1,324	1,122	1,373	1,356	2,168
	100.0%	12.9%	17.4%	10.2%	14.3%	12.1%	14.9%	14.7%	23.5%
千種1丁目	1,014	173	219	94	213	113	136	101	183
	100.0%	17.1%	21.6%	9.3%	21.0%	11.1%	13.4%	10.0%	18.0%
千種2丁目	442	50	64	48	73	34	73	50	119
	100.0%	11.3%	14.5%	10.9%	16.5%	7.7%	16.5%	11.3%	26.9%
千種3丁目	736	86	121	64	79	89	109	125	204
	100.0%	11.7%	16.4%	8.7%	10.7%	12.1%	14.8%	17.0%	27.7%
千種4丁目	872	125	163	102	120	106	133	109	197
	100.0%	14.3%	18.7%	11.7%	13.8%	12.2%	15.3%	12.5%	22.6%
野上3丁目	811	118	155	77	136	100	100	111	191
	100.0%	14.5%	19.1%	9.5%	16.8%	12.3%	12.3%	13.7%	23.6%
野上4丁目	1,163	134	193	112	111	155	183	142	347
	100.0%	11.5%	16.6%	9.6%	9.5%	13.3%	15.7%	12.2%	29.8%
野上5丁目	719	84	120	93	80	91	123	119	146
	100.0%	11.7%	16.7%	12.9%	11.1%	12.7%	17.1%	16.6%	20.3%
野上6丁目	1,903	190	254	174	299	195	284	372	503
	100.0%	10.0%	13.3%	9.1%	15.7%	10.2%	14.9%	19.5%	26.4%
宝梅2丁目	1,270	183	265	137	159	197	195	175	224
	100.0%	14.4%	20.9%	10.8%	12.5%	15.5%	15.4%	13.8%	17.6%
宝梅3丁目	315	48	59	39	54	42	37	52	54
	100.0%	15.2%	18.7%	12.4%	17.1%	13.3%	11.7%	16.5%	17.1%

2. 区域図



(実際は宝塚ゴルフ倶楽部の区域も含まれます)

3. 西山小学校区の主な施設

■聖天さん（正式名：七宝山了徳密院：しちぽうざんりょうとくみついん）

大阪浦江の福島聖天了徳院の別院として大正8年、日下義禪（くさか ぎぜん）大和尚（元真言宗東寺派管長）によって、建立されました。

平成七年の阪神大震災で本堂以下、ほとんどの建物や石碑が壊滅状態となりましたが、檀信徒の助力により、その四年後、平成11年に復興を終えることができ、現在に至っています。ゼロ戦の実物大模型でも知られていますが、これは第2次世界大戦時代の特攻隊の人々をまつるものです。



■宝の塚（宝梅中学校内）

宝塚市のいわれになったともいえる宝の塚は、現在、市内に2箇所あります。御殿山と宝梅です。昔宝を隠していたという話があります。この塚は、かつて宝梅園の一角、現在の宝梅中学校南側のグランド付近に位置していました。周囲は30メートルほどもあったようですが、1962（昭和37）年、宝梅中学校の建設の際に移転され、現在はその中心部のみが宝梅中学校の正門の脇にあります。



■宝梅中学校（ほうばいちゅうがっこう）

宝梅中学校は、宝塚市の人団の急増に対応するものとして、1961（昭和36）年4月1日、宝塚第1中学校から分かれる形で開校しました。当初は第1小学校と第1中学校で授業が始まり、順次校舎が整えられていったようです。校歌の中にも「園に床し白梅の」「宝の塚のゆかりにも」といった表現が残っています。宝梅園と宝の塚は地域のシンボル的な存在だったことがみてとれます。のち1988（昭和63）年、この宝梅中学校から光ガ丘中学校が分離して開校しています。

■西山小学校

西山小学校は、昔は宝塚市立第一中学校でした。この第一中学校は昭和25（1950）年にこの地に立地、のち昭和43（1968）年に第一中学校が仁川うぐいす台に移転したことに伴い、西山小学校となって現在に至っています。そのころは中学生と小学生が一緒に学習したこともあったそうです。平成7（1995）年の阪神淡路大震災の折には、緊急の避難所として、しばらくの間活用されました。

また、校庭が広いことから、少年野球やサッカーの試合によく利用されています。校歌にはポプラの枝がでてきますが、現在はその多くが切られており、その面影はほとんど残っていません。



■宝塚ゴルフ俱楽部(くらぶ)

宝塚ゴルフ俱楽部は、大正 15(1926)年、宝塚俱楽部の一部門として開設された、日本で 16 番目のゴルフ場です。かつて、競馬場の敷地になりそうな時期もありましたが、結局今の地に残り、周辺は住宅地となって現在に至っています。昔は周囲の網から子供たちが入り込んで遊ぶなど、のんびりした雰囲気だったそうですが、現在は周囲に住宅も増え、交通量も多いことから、高いフェンスになり、かつて南側に隣接する千種 4 丁目住宅地との間にあったミモザの木も伐採されています。甘香塚(かんこうづか)という昔果樹園だった頃の記念碑もあります。阪神淡路大震災の際は、お風呂を提供していただきました(延べ 1 万人利用)。



■平林寺 (平林寺のしおりから抜粋)

平林寺は、約 1400 年前、淳和(じゅんなん)年間(824 年～)に、第三十一代用明天皇の命により、聖徳太子が創建されたお寺で、中山寺と相前後したものと寺伝は伝えています。飛鳥時代に、大和朝廷を経済的、政治的にも支えた摂津の国(現在の大阪府北半分と兵庫県南東部)の武庫川右岸に壯麗な大伽藍=平林寺が姿を現わした時、この地方の人々はその美しさと仏教の教えの有難さに心を奪われたことでしょう。まさに信仰の聖地だったのです。千年前には花山天皇が定められた摂津国三十三所の観音靈場の第二番札所になるなど、古代から現在まで、人の心に安らぎを与えてきました。



■宝塚神社

宝塚神社ができたのは、隣接する平林寺とほぼ同じ時期、平安時代、承和(じょうわ)年間(834 年～)のことです。氏子(うじこ)の区域は、千種、野上、宝梅、寿楽荘、ゆずり葉、など、昔の小林村の一帯です。農耕の神様の素盞鳴(すさのお)神社、山の神様の日吉神社をまつっています。昭和 40(1975)年、合併して宝塚神社となりました。このあたりは農村地帯で、水をもらう岩倉山を信仰対象とした山岳信仰のなごりであったとのことです。北側鳥居そばの石灯籠の基盤に、数か所ある丸いへこみは、江戸時代、天明(てんめい)の飢饉(天明 2 年から 7 年: 1782～1787 年)の際に、飢饉で苦しむ人々が石をこすり合わせて祈った記録とのことです。



■小林(おばやし)聖心女子学院

小林聖心女子学院は、大正 15 (1926) 年 12 月、当時の武庫郡良元村小林字ハゼリの地(現在は宝塚市塔の町)に立地しました。関東大震災(1922 年)によって東京の聖心会が被害を受け、生徒が疎開していたという影響もあって、広い土地を探し、当時宝塚温泉で知られていたこの地に決めたようです。キリスト教の精神にもとづく教育を実践する聖心女子学院の存在は、この地域の方々にも関係者が多く、地域の雰囲気を高めるものといえるでしょう。

また、小林にある「バラホーム保育所」は、「小林みこころ会」(卒業生の会)が中心となって、昭和 28 (1953) 年 2 月 2 日、現在の地に立地しました。バラホームという名称は、聖心会の創始者である聖マグダレナ・ソフィア・バラ (1779-1865 年) の名前からとったものです。キリスト教の精神に基づく保育を実践されています。



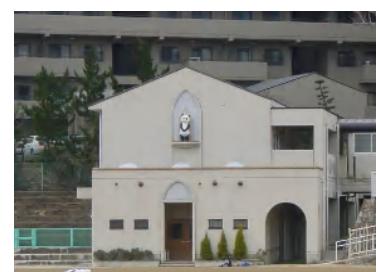
■学校法人野上幼稚園 (のがみようちえん)

野上幼稚園は私立の幼稚園で、野上 5 丁目の逆瀬台との境目にあり、昭和 50 (1975) 年の創立です。のびのびと元気な子ども、あいさつ、あそび、あい、を大切にする保育方針です。「子育てを楽しみ、子育てをとおして成長するご家族のための幼稚園」をモットーに、3 年保育を実践しています。登降園は「お母さんと手をつないで」を原則としていますが、現在は遠方から来る方も多くなり、平成 16 (2004) 年 1 月から、降園のためのバスが走るようになりました。



■宝塚市立西山幼稚園 (にしやまようちえん)

宝塚市立西山幼稚園は、野上 6 丁目、西山小学校と敷地が一体となった形で立地しています。昭和 44 (1969) 年 4 月の開園で、平成 4 (1992) 年から、2 年保育が実施されました。「心豊かにたくましく生きる子ども」を教育目標とし、「こころと心のふれあいひろば」として、3 つのひろば(絵本や物語にふれる「おはなしのひろば」、人とかかわる体験の「あそびのひろば」、身近な自然体験や家庭・地域と連携した「わくわくひろば」)が特色です。



■株松田ポンプ製作所

松田ポンプは野上 2 丁目にあり、コミュニティ西山の区域に隣接しています。ケミカルポンプの専門メーカーとして知られています。昭和 20 (1945) 年 6 月に大阪の工場が戦災にあったことから、逆瀬川沿いの現在の地に移転してこられました。初代の社長の松田栄治郎さんは、宝南自治会の会長もされていました。阪神淡路大震災の際は、工場の外で水道を 24 時間流していただき、私たちもとても助かりました。また、工場であることから、車の出入りもあり、周辺住宅地に対する配慮にはとても気を使っておられます。



- そのほか、住宅公団(2004年末現在:都市再生機構)の賃貸住宅(520戸)もあります。これは高度成長期、大都市圏の住宅難解消のため、建設された公的住宅です。昔の地形をいかして林の中にゆったりと配置されています。



- 周辺の病院としては逆瀬川駅前に宝塚病院があります。救急告示病院として、緊急時の対応が可能です。
- 郵便局としては野上4丁目に野上郵便局があります。特定郵便局として、昭和53(1978)年に開設されました。
- きんでん逆瀬川寮の敷地内には古墳が残されています。
- そして、地域の中央を流れる逆瀬川。ここから見る甲山の風景はなかなかのものです。魚も多く、ホタルも飛びかっています。ミヤマアカネというトンボもいます。兵庫県の砂防事業発祥の地です。

(以上「記憶に残そう昭和の西山」記事より要約・一部加筆)





わがまちへの思い



1. アンケート調査の概要

西山小学校区を構成する主要な自治会（千種自治会、千種ヶ丘自治会、宝梅自治会、宝南自治会、中ヶ谷自治会、逆瀬川ハイツ自治会）、公団逆瀬川団地、サンヴェールマンション、NTN マンション、その他アンケート配布回収が可能なマンションなどに個別配布を行ないました。自治会班長、班代表を通じて回収が困難な場合は一部郵送（受取人払い）による回収を行ないました。逆瀬川団地については集会所に回収箱を設置しました。

その結果配布数は 3306 件、回収数は 1538 件となり、回収率は 46.5%となりました。
地区別にみると、自治会の回収率が高い傾向となっています。

配布日時：2004（平成 16）年 7 月末

西山小学校区 地域ごとのまちづくり計画 アンケート回収状況(9月8日修正後)

番号	自治会名等	配布数	回収数	回収率	備考	集計区分
1	千種自治会	251	128	51.0%	ピンク	千種自治会
2	千種ヶ丘自治会	660	428	64.8%	ブルー	千種ヶ丘自治会
3	宝梅自治会	255	180	70.6%	グリーン	宝梅自治会
4	宝南自治会	972	582	59.9%	イエロー	宝南自治会
5	サンヴェール	140	52	37.1%		野上その他
6	NTN	62	21	33.9%		野上その他
7	逆瀬川ハイツ	150	21	14.0%		宝梅その他
8	中ヶ谷	36	19	52.8%		野上その他
9	逆瀬川団地(公団)	520	54	10.4%		野上その他
10	宝梅等マンション	260	53	20.4%	千種 27、宝梅 21、野上 0、社 5	千種その他 32、宝梅その他 21
	計	3306	1538	46.5%	全体配布数は未確定	

注1: 宝梅等マンションは郵送配布回収のため区域は一定しない。(集計の際に確定)

注2: 7月末配布。最終回収は8月26日

注3: 用紙は各自治会ごとに色別配布。ただしマンション等は白用紙(備考欄に色を記載)

注4: 社町は千種その他で集計

地区別集計区分	回収数
千種自治会	128
千種ヶ丘自治会	428
千種その他(社町含む)	32
宝南自治会(野上)	582
野上その他	146
宝梅自治会	180
宝梅その他	42
計	1538

2. アンケート集計結果

問1 住まいの町名

千種 37.9%、野上 47.3%、宝梅 14.4%などとなっています。社町は5名です。

① 性別

女 73.5%、男 26.5%で、女性が4分の3近くとなっています。

② 年齢

30~39歳が12.9%、40~49歳が15.4%、などとなっていますが、60歳以上がほぼ半数を占めています。16~19歳も3名おられます。

③ 職業

無職が71.9%ともっとも多く、会社、団体勤務が14.1%です。

④ お住まい

3人以上が49.4%とほぼ半数です。ひとり暮らしも12.2%となっています。

⑤ 居住年数

20年以上が50.0%ともっと多く、次いで10~20年(18.4%)、1~5年(16.1%)となっています。

⑥ 今後の居住予定

「ずっと住み続けたい」が67.9%ともっと多く、次いで「わからない」(25.2%)となっています。「西山地域に転居したい」は2.0%です。「わからない」が比較的多いのは、社宅が多いことなどが考えられます。

⑦ 生活環境についての満足度

防災対策から総合的な住み心地まで14項目について質問をしました。

●満足が多い項目

第1位：自然景観(45.7%)

第2位：街並み景観(40.7%)

第3位：総合的な住み心地(33.6%)

●不満足が多い項目

第1位：交通安全対策(36.6%)

第2位：防犯対策(30.7%)

第3位：子どものための施設(28.7%)

⑧ まちづくりを進める上で重要なこと

17項目について、4つまで回答をお願いしました。

第1位：防犯などの治安対策(65.7%)

第2位：高齢者や障害者が安心して住める住環境整備(42.1%)

第3位：安全な歩行者空間の確保(34.3%)

⑨ これからのまちづくりへの参加
ぜひ参加が 1.8% (25 名)、機会があれば参加が 62.5%などとなっています。

⑩ その他西山小学校区のまちづくりに対する意見
合計で 122 名の方が回答をよせていいただきました。バス（通行、停留所など）、ごみ、公園、防犯、まつり、不法駐車、タバコのポイ捨て、犬、車の利用、コミュニティ活動への期待など、様々な意見が寄せられています。

お名前、連絡先の記入

連絡先を記入していただいた方は 66 名おられました。その後ご本人に連絡をとらせていただき、ご了解をいただいた方に参加の機会をつくっております。

3. アンケートにみる「こんなまちにしたい」

地域内住民の 46.5%の方（つまり約半数）に回答をいただいた結果、この地域にずっと住み続けたい方が 67.9%もおられましたことは大変喜ばしいことです。

まちに対しての思いは自然、街並みなどの景観には非常に満足している一方で、交通安全、防犯対策など日常生活面においての細かいケアを、もっと改善してほしいという思いが表れているように感じます。これからのまちづくりとしては治安対策、住環境整備、安全な歩行者空間の確保という三点に大きくまとめられると思います。

今後状況、環境が刻々と変化していくめまぐるしい中ではありますが、互いの絆を大切に、人と人とがつくるまちづくりを推進していくこうという意識が読み取れます。



まちづくりの考え方

わたしたちの住む西山小学校区は、武庫川の支流である逆瀬川の両岸に広がる丘陵地に位置しています。緑も豊かで静かな住宅地が続いています。逆瀬川にはホタルやミヤマアカネというトンボが飛びかうなど、自然に恵まれた地域であるといえます。

しかしながら近年は、銀行グラウンド跡地などに宅地開発も進んでおり、空閑地は次第に減少しています。このようななか、防犯や防災面の対策・交通安全・住宅地の環境を守る必要性など、今後わたしたちが取組むべきまちの課題は大きいものがあります。安心・安全で魅力のある環境を守り育て、次の世代に残していくことが、わたしたちに求められているのだと思います。以上のようなことを念頭に置き、これからまちづくりのテーマとして、

～ホタルやトンボが飛びかう 美しい丘づくりにむけて～

を掲げます。そして、まちづくりの分野を以下の4つにわけ、住民・行政・企業が協働でまちの課題に取組んでいきたいと思います。

1. 道路・交通

目標：みんなが安心して通れる、西山のきれいな道づくり

2. 緑と水辺

目標：みんなで守って育てる、西山のうるおいある緑と水辺づくり

3. 住環境

目標：みんなが安全を感じる、西山の美しいまちづくり

4. 交流の場づくり

目標：みんなが集える、西山の楽しい輪づくり

1. 道路・交通

目標：みんなが安心して通れる、西山のきれいな道づくり

地域の道は逆瀬川沿いや野上通りなど、坂が多く、狭い上に交通量も多くなっています。子どもたちの通学路やバス停にも危険な場所があります。交通安全施設の効果的な整備や、地域ぐるみで安全教育を実施するなど、安心して通ることができる道づくりを進めます。また、公共交通の利便性向上にも取り組みます。

（1）現状と課題

- 地域には、「狭い」「曲がっていて見通しが利かない」生活道路が多く、また通過交通が多く、歩道の整備が十分ではない道路もある。
- 大規模開発や新築工事が行われており、工事車両の往来が頻繁になっている。
- 西山橋バス停、宝塚ゴルフ場バス停は、乗降客のためのスペース確保が十分でないため、傘を差している雨天時などは特に危険を感じる。
- 坂道が多く、高齢化の進行とともに、ミニ循環バスなど足の確保が地域の課題となる可能性も高い。
- 小学校の通学路にも危険な交差点が多く、対策が必要である。

（写真：西山橋バス停。逆瀬川駅寄りの野上バス停と同様にせまく危険。）



（2）取り組みの方向性

- ① 安全な歩行空間の確保
- ② 交差点の安全性向上
- ③ バス乗降客の安全性向上
- ④ 交通安全教育の徹底
- ⑤ バス停等の可能性の検討

(3) 具体的な取り組み

① 安全な歩行空間の確保

<市や警察に対する要望事項（要望済）>

図番号	内容
A	踏み切り内に歩行者専用通路を設けてもらい、車との分離を図る。
B	ガードレールなどの交通安全施設の整備や歩道の段差などを解消し、歩行者の安全を確保する。
C	歩行空間の整備を行ない、歩行者の安全を確保する。

特に、桜道は地域のシンボルロードでもあるため、桜を保全しつつ、道としての安全性の向上を、地域をあげて実施していく。

道路面が極端に馬の背状態になっている道路面では、歩行者が安全に車を回避することが困難であるので、路面を平らに整備し直してもらうよう要望する。また、路側帯を引く、水路空間を利用するなどにより、歩行空間の確保を要望し、安全な道づくりを求めていく。

一方通行が必要と考えられる道路のあり方にについても検討する。

（写真：桜道：春は桜が美しい）



<市や警察と協働して>

図番号	内容
D	交通安全施設のあり方を改善し、歩行者に安全な道づくりをする。

野上3丁目と4丁目の間の道路（通称：野上通り）、支多々川沿いの道路については、現在中央線が引かれているが歩行者空間が確保されていない。交通量も多く、スピードを出す自動車もあるため、中央線を消し、歩行者の安全を確保するための路側帯を設けることを要望する。

（写真：野上通り）



トピック：愛知県では、センター線を消すことで、交通事故がかなり減少した

●愛知県警察本部が実施した道路のセンター線を消す取り組み(平成12年7月～平成13年3月)。実施前6ヶ月間と実施後6ヶ月間の交通事故は約半分に減っている。

期間	人身事故	物損事故	速度測定
実施前 6ヶ月	17件	61件	53.1km
実施後 6ヶ月	5件	34件	46.7km



愛知県稻沢市の市道207号線。中央線を消すことで事故は半減する。写真＝愛知県警察本部

(資料：JAF 2002年4月号より)

② 交差点の安全性向上

＜市や警察に対する要望事項（要望済）＞

図番号	内容
E	押しボタン式信号機の設置などにより、特に子どもや高齢者の安全確保を図る。

通勤等による通過交通が多い道路のいくつかの交差点で、出会い頭の事故が発生しやすいが、信号機の設置が困難な交差点がある。要注意交差点については、一旦停止斜線を引くなど、事故を未然に予防する対策を要望する。

また、通学路となっている交差点については、自動車運転者にも注意を喚起するよう、交差点内の路面の色を変える、「通学路」と表示するなどの工夫を検討し、実施していく。

(写真：宝梅2丁目危険な交差点)



トピック：通学路安全性確保の申し入れ

西山小学校及び西山小学校PTA（愛護部）では、毎年通学路の安全性向上のため、「児童の登下校における安全対策についてのお願い」として、危険な交差点などの調査を行ない、宝塚市教育委員会、宝塚警察署長宛に要望書を提出している。徐々に対策は進めているが、まだまだ課題が多い。

危険箇所一覧（平成16年度申し入れ箇所）

番号	箇所名	現状と要望事項(抜粋)
①	千種4丁目喫茶「DANKE」北側交差点	見通し悪く、危険。横断歩道、押ボタン信号、標識の増設要望
②	宝梅3丁目五差路	斜路を車がスピードを落とさずに通行。普通の信号または押ボタン信号設置要望。聖天下T字路に横断歩道設置要望
③	宝梅2丁目木元橋東側横断歩道	聖天さん方面からの車が見えにくく、待機場所が狭く危険。押ボタン信号の設置要望
④	野上4丁目信号交差点	シード側からの車がスピードを落とさず左折。交差点山側に「学童多し注意」標識設置要望
⑤	野上4丁目16-17地先	点滅信号があるが上り坂で歩行者の確認が困難。「横断者に注意」標識設置要望
⑥	野上5丁目バス停(北行き方面)北側	カーブに「学童多し注意」の標識があるが見えにくい。南からも東からも確認できる標識設置要望
⑦	千種3~4丁目喫茶「DANKE」前から小林駅駅に向かう道路	喫茶 DANKE 前の道路に水がたまり子どもが車道にはみ出す。三角公園前交差点は右折左折車両多く、危険。DANKE 前道路の整備(水がたまる)要望。三角公園前交差点「学童多し注意」標識設置要望。歩道の幅確保要望
⑧	千種4丁目2交差点	逆瀬川より小林へ抜ける道路でスピードを出す車両があり、見通しも悪い。「学童多し注意」標識設置要望。横断歩道設置要望。

③ バス乗降客の安全性向上

＜市に対する要望事項＞

図番号	内容
F	乗降客が滞留できる空間を確保し、安全確保を図る。

④ 交通安全教育の徹底、意識・マナーの向上

＜PTA・地域・学校が連携して＞

- 子どもが自分で自分の安全を確保できるよう、歩行者、自転車利用者としてのマナーだけでなく、「車はなぜ止まれないか」「運転手の心理」など車の事情なども教えるような交通安全教育を実施する。
- 子どもが自分で危険箇所をチェックして歩き、自分たちで気づく安全教育プログラムを実施する。
- 通学路となっている道路を地域の人に知ってもらうよう、定期的に情報提供を行う。
- 小学校で行なわれる交通安全教育の際に、地域住民を加えていただくなど、小学校とも連携していく。

＜個人の配慮として＞

- 生活道路ではスピードを出し過ぎない。
- 見通しの悪い道路沿いの住宅では、道路側に歩行者が通行する高さで植木や生垣が

はみ出さないよう手入れをする。

- 路上駐車をしない(駐車場を借りるなど)。

⑤ バス停等の可能性の検討

〈自治会、コミュニティにおいて〉

- 野上3丁目バス停から逆瀬川駅までの区間が長いため、途中に1箇所バス停の確保を、地域住民の協力のもと事業者に要望する。
- ミニ循環バスについて、各自治会ごとに異なるため、まずは自治会ごとに導入の必要性などを検討する。
- 光が丘方面バスの時間延長について、隣接するコミュニティの区域の自治会などと連携して可能性を検討する。

■ 図番号A～F、及び危険箇所一覧の①～⑧は、末尾の西山小学校区まちづくり課題マップに対応しています。

2. 緑と水辺

目標：みんなで守って育てる、西山のうるおいある緑と水辺づくり

地域には桜道など美しい道もありますが、手入れが行き届いていない公園もあります。逆瀬川は地域のうるおいの場となっており、ホタルやミヤマアカネという貴重な生き物も生息しています。公園の美化やマナーの向上、桜並木の保全、逆瀬川に親しむ取り組みなど、自然環境を守り育てるまちをつくります。

(1) 現状と課題

- 野上の桜道や千種など、桜で美しい場所がある。
- 地区内には約 15箇所の市が管理する公園(7)と緑地(8)があり、その清掃は市や地域において実施されている。地域の人に頻繁に利用されている公園（宝梅2丁目第3公園）や、朝市に利用されている公園（宝梅1丁目の宝梅公園）などは清掃が行き届いている。
- 一方でごみや犬猫の粪が落ちていたり、草木が繁茂して見通しが悪く、防犯面の対応が必要な公園もある。
- 山添児童公園、千種4丁目公園、野上ヶ丘公園(野上4丁目公園)には「防災資器材設置場所」が整備され、宝梅2丁目第3公園にも設置が予定されている。



(写真：宝梅2丁目第3公園。きれいに清掃され、地域の人がゲートボールをしている)

- 千種自治会、千種ヶ丘自治会、公団逆瀬川団地には、地域緑化花壇(花と緑の会による)があり、季節の花が咲き誇る憩いの空間となっている。



(写真:千種地区のサクラ並木と花壇)

- 団地や集合住宅群では緑の空間があり、木々も茂っているが、住宅街にはあまり大きな木が残されていない。
- 野上通りには、シンジュの木があり、ランドマークとなっている。



- 逆瀬川の水質が改善され、ホタル(ゲンジボタル、ハイケボタル)が増えている。ホタルを保全する活動の拠点であるピカピカランドがある。ミヤマアカネという貴重種のトンボも生息する。
- 逆瀬川は兵庫県砂防事業発祥の地である。
- コミュニティ西山では、子どもたちと逆瀬川に親しむ「逆瀬川たんけん隊」という取り組みを実施している。

(写真：ピカピカランドホタル飼育 ⇒)



(写真：逆瀬川たんけん隊の様子 ⇒)



(2) 取り組みの方向性

- 公園の美化、快適性の向上
- 公園の活用
- 桜並木の保全
- コミュニティ・ガーデンづくりの検討
- マナー向上運動の展開
- 防災公園としての公園整備
- 逆瀬川に親しむ取り組みの推進

(3) 具体的な取り組み

- 公園の美化、快適性の向上

<市、自治会・コミュニティが協議して>

- 公園の維持管理の方法について、地域で総合的に管理できる体制づくり、市との役割分担などを協議する。⇒これにより公園の活用も促進される。

<自治会・コミュニティとして>

- 野良猫の子どもが増えないよう、去勢・避妊手術を施したり、飼い主を探すなどの取り組みができるかを検討する。

<個人の配慮として>

- 野良犬・猫を飼うことができないのなら、えさをやらない。

- 公園の活用

<自治会・コミュニティとして>

- あまり活用されていない公園については、子どもだけでなくさまざまな年代の人が活用できる工夫を地域で検討する。

例えば：

➤ 一部を貸し農園やコミュニティ・ガーデンにして、いつも人の手が入るよ

うにする。

- ベンチやあずまや、木陰をつくり、地域の交流の場として活用する。

③ 桜並木の保全

〈市とコミュニティが協議して〉

- ・ 弱っている木への追肥や植え替え、枯れた木を再度植樹するなどにより、桜並木が維持できる仕組みを検討する。

④ コミュニティ・ガーデンづくりの検討

〈自治会・コミュニティとして〉

- ・ 空地や公園などに地域で管理する「花と緑の会」による花壇の維持・増進を図り、憩いの場、ふれあいの場とするため、「コミュニティ・ガーデン」づくりを検討する。
- ・ 地域内の有志が市役所と協調して実施している、オープンガーデンの取り組みを紹介する。

⑤ マナー向上運動の展開

〈自治会、コミュニティとして〉

- ・ 公園・緑地、路上などをみんなできれいにするため、年2回程度の清掃ウォーキング実施する。(プラカードをもって美化啓発、情報発信の機会にも活用)

〈個人の配慮として〉

- ・ 犬が散歩中にした粪は、各自できちんと回収し始末をする。

トピック：宝塚ワンニャン俱楽部の活動

野上、光ガ丘、宝梅、逆瀬台、武庫山で活動しています。

廃品回収をして得た収入で、公園の猫の避妊手術を行なっています。また、捨てられた犬や猫を保護する団体に対して寄付もしています。

(注：宝塚ワンニャン俱楽部に参加していなくても、自宅周辺の猫の避妊手術を自費で行なっている方々もおられます。)

⑥ 防災公園としての公園整備

〈市とコミュニティが協議して〉

- ・ 公園は防災公園とし、周辺住民の一時避難空間・防災救急器具保管および訓練場所として活用整備する。
- ・ 企業グラウンドなどが老人ホームや住宅地として開発される状況のなか、一定の大きさの空閑地の確保は、防災上大きな効果があることから、開発公園が整備される際、行政が先行的に土地を買収するなど、防災面に配慮した近隣公園レベルの公園整備を進める(きんでんグラウンドを対象)。

⑦ 逆瀬川に親しむ取り組みの推進

＜自治会、コミュニティとして＞

- 地域にうるおいを与えていたる逆瀬川を守るために、小学校や子どもたちとも協力して、生き物調査、水質調査、清掃活動、歴史の学習などをすすめる(逆瀬川たんけん隊の活動の継続など)。
- 逆瀬川に親しむ環境を守り、育てるため、下りやすい階段、生き物の生息環境に配慮した周辺の保全などを関係者に要望する(ピカピカランドは都市計画道路にかかっている)。
- 逆瀬川から流れる農業用水の確保を継続するため、水利組合との学習会を開催するなど、水環境の保全に関する取り組みを検討する。
- 逆瀬川の美化運動をすすめる諸団体との連携を図る(逆瀬川を守る会、コープこうべなど)

＜個人の配慮として＞

- 家庭排水を汚さないように配慮する(せっけん使用、油を流さないなど)。
- 貴重な水道水を無駄にしないよう、シャワーを控えたり、花や緑の水やりに雨水を利用するなど節水に努める。

3. 住環境

目標：みんなが安全を感じる、西山の美しいまちづくり

防犯対策は地域の大きな課題です。防災への対応も忘れてはなりません。地域のつながりが防犯上の効果を高めるとの認識にたって、犬の散歩の際に声をかけあうなど、意識的につながりを持つよう努めます。防災体制の再確認を行ないます。住環境を守るため、開発者に対するお願ひなど、マナーの向上のための方策を検討します。

（1）現状と課題

- 窃盗などの被害が発生している（2004年度は1月から11月までに、西山交番の区域では41件。逆瀬川交番の区域では191件。小林交番の区域では145件）。
- 夜暗い道路が多いので怖いと感じている人がいるが、街灯設置には基準があり、また周辺の合意が必要であることから、増設が困難な場所も多い。
- 「アトム110番」の協力者も多いが、高齢化などで対応がむずかしくなる家庭もあり、追加引き受けしてくれる協力者を探す必要がある（2004年度に一部追加実施済み）。
- 西山小学校PTAが発案した、子どもの登下校時の見守りを犬の散歩を兼ねて実施する「西山ワンダフル」が、自治会やコミュニティの協力により実現化することとなった。
- 大規模宅地開発、急傾斜地での住宅開発が進行、予定されているところがあり、今後も住環境が大きく変わる可能性がある。
- 千種自治会、千種ヶ丘自治会エリアでは、地区計画により良好な住環境の保全を図っている。

（2）取り組みの方向性

- ① 声掛け・“地域の目”推進運動の展開
- ② 門灯点灯運動の推進
- ③ 防災体制の再確認
- ④ まちづくりルールの検討

（3）具体的な取り組み

- ① 声掛け・“地域の目”推進運動の展開
<個人の配慮として>
 - 隣近所、地域の人とはできる限り顔見知りになり、「あいさつ」など声を掛け合う。
 - 見かけない拳銃不審の人がいる場合には、「どちらかをお探しですか？」と声をかけてみる。

＜PTA、自治会、コミュニティが協力して＞

- ・ 「アトム 110 番」「西山ワンダフル」への参加のみならず、地域の人が日常の活動の中で、地域の安全を守る目をもつことを啓発していく。
- ・ 防犯セミナーを開催し、日頃の心がまえをしておく。

トピック：「西山ワンダフル」の仕組みと事業の進捗状況

- ① 各自治会に5枚「西山ワンダフル」配布。
 - ② 配布先（西山ワンダフルメンバー）のリストを作成。1部コミュニティへ提出。
 - ③ 今後名札の移動があった場合は、リストの変更。（コミュニティへの提出は不要）
 - ④ 西山ワンダフルメンバーへお願い文と名札の配布。
- * 西山ワンダフルメンバーとは
- ・ 「西山ワンダフル」の名札をつけて犬の散歩をしてくださる方。
 - ・ いつでも辞退することができます。
 - ・ 辞退される時は、名札を自治会へご返却ください。
- * 2004年末現在、配布予定 30 枚。

② 門灯点灯運動の推進

＜個人の配慮として＞

- ・ 「地域の人の安全は、自分の安全」だということをみんなで確認しあい、午後 11 時くらいまでは、門灯を照らして防犯に協力する。門灯を設置する際は、道路も照らせるように配慮する。
- ・ CO₂(二酸化炭素)の削減や環境を守る観点から、節電型の器具を使用する（太陽光利用など）。

＜市と自治会が協議して＞

- ・ 街灯の照度を上げたり、センサー式の街灯を設置するなど、明るく安全な夜道づくりの工夫をする。

③ 防災体制の再確認

＜各家庭での取組み＞

- ・ 災害発生時にどのように行動すべきかを各家庭で話し合う。

＜自治会、コミュニティとして＞

- ・ 災害発生時の連絡網の確認と、防災リーダーがどのように動くかについて研修を行なう。
- ・ 地域の情報を的確に市や警察・消防に伝達できるよう、地域内の情報収集体制をつくる。
- ・ 高齢者や障害者の避難支援のあり方について具体的に検討する。

④ まちづくりルールの検討

＜自治会、コミュニティとして＞

- ・ 良好な住環境を守るため、建築協定や緑化協定、地区計画などのルールについて勉強会を開催する。
- ・ 地域にある、残したい景観や環境を選び出し、その保全の仕方などを検討する。
- ・ 大規模開発やマンションの開発に際しては、例えば歩道を確保したり、緑地を外部に向けて整備してもらうなど、周囲の環境や歩行者の安全性向上に配慮してもらうよう、開発者に対してお願いをしていく。

＜個人の配慮として＞

- ・ 外に向かっての植栽、花壇の整備など、まち全体が美しくなるような配慮をする。

4. 交流の場づくり

目標：みんなが集える、西山の楽しい輪づくり

地域では近所同士の日常的な交流の機会が少なくなり、高齢者の割合も増加しています。一方で自治会や学校などが協働したコミュニティ活動は徐々に進んでいます。人材の発掘やイベントの継続、さまざまな情報発信など、地域内の人々の輪を広げる取り組みを進めます。

(1) 現状と課題

- 小学校敷地内にコミュニティ施設「ウエル西山」はできたが、小学校の安全管理のため出入りが不自由になっている。
- 千種ヶ丘自治会の掲示板は、ガラス扉つきなので、雨にも強く、写真をふんだんにつかった活動報告が掲示されており、地域の活動の状況がみんなに楽しく発信されている。(写真：千種ヶ丘自治会の掲示板)
- 小学校 PTA、コミュニティ協議会が中心となり、毎年小学校を利用してふれあい西山まつりが実施されている。小学校では「地域の先生」活動が実施されている。
- 一人暮らしの高齢者に対する交流の機会を提供するための「ふれあい・いきいきサロン」が3箇所で行なわれている



トピック：ふれあい・いきいきサロンの状況

名称	場所	日時	費用
ふれあいサロン ひばり	逆瀬川団地・集会所	第1水・第3火 13:00~16:00	150円
トークサロン	千種ヶ丘自治会館	年8回 13:30~15:00	無料
なごやかサロン	宝会館	第2水 13:30~15:30	200円

- 地域内には児童館がない(社町、旧大和銀行グラウンド跡地に整備が予定されている)。
- 地域内の主な集会施設をみると、利用対象が自由で多目的・空調あり・多人数(100人程度)の集会施設が不足している(現在、多人数のコンサートなどは西公民館を利用しているが、有料である)。



(写真：ふれあい西山まつりの丸太切りと、12月のジャズコンサートの様子)

地域における主な集会施設と活動内容

集会施設 活動内容	ウエル 西山	千種ヶ 丘自 治会 館	西山小学校 西山幼稚園			逆瀬川 団地 集会所	宝会館 (宝南・宝 梅・宝南 第1自治 会)	聖天 信徒 会館	
			運動場	体育館 遊技室	視聴覚 教室				
1. 災害支援		○	○	○		○	○		
2. 冠婚・葬祭		○				○		○	
3. コミュニティ	○	○	○	○	○	○	○	○	
4. 自治会	○	○					○	○	
5. マンション 管理組合						○	○		
6. 老人会		○				○	○		
7. 子ども会	○	○					○		
8. 文化・体育	○	○	○	○	○		○		
9. 福祉	○	○				○	○		
10. 行政	○	○		○			○		
11. 教育・塾		○					○	○	
記 事	利用対象	自由	会員	自由	自由	自由	団地 住民	会員	会員
	収容人数 (最大約)	60	50			30	30	60	葬儀 100 集会 60
	許可制	○	○	○	○	○	○	○	
	使用料金	有料	無料	無料	無料	無料	無料	実費	有料

（2）取り組みの方向性

- ① 地域人材の発掘
- ② 子どもから高齢者まで楽しめるイベントづくり
- ③ 情報発信の充実
- ④ ウエル西山の活用促進
- ⑤ 地域集会施設の活用促進
- ⑥ 空調完備・多人数・多目的集会施設の検討

（3）具体的な取り組み

- ① 地域人材の発掘
 - 地域に在住するさまざまな能力を持った方たちの発掘を行ない、コミュニティ活動に協力していただくよう、お願いしていく。
 - 小学校で実施されている「地域の先生」活動を発展させるなど、コミュニティと学校の連携を強めていく。
- ② 子どもから高齢者まで楽しめるイベントづくり
 - 健康増進と世代間交流を兼ねて、PTAと自治会が協力して、夏休み期間に合同早晨ラジオ体操をする。
 - ふれあい西山まつり、わいわいフェスティバルなどの取り組みを継続する。
 - ふれあい・いきいきサロンの取り組みを継続する。
- ③ 情報発信の充実
 - 隣近所、地域の人とはできる限り顔見知りになり、「あいさつ」など声を掛け合う。
- ④ ウエル西山の活用促進
 - 社会福祉協議会職員や市職員の、定期的な訪問活動など、より親しめる場としての活用のあり方を検討する。
- ⑤ 地域集会施設の活用促進
 - 地域内にある集会施設の広報に努めて、その活用促進を図る。
- ⑥ 空調完備・多人数・多目的集会施設の検討
 - 不足していると考えられる空調完備・多人数（100人程度）・多目的な利用ができる施設の可能性を検討する。



千種自治会 会長 松山 辰男

- ① この「まちづくり計画書」は、西山小校区の住民ひとり一人の思い、意見が集約されてでき上がっているものであり重みがある。それだけに今後の実現への取り組みが重要である。
- ② 千種自治会でも会員意識は全く同一である。
- 先年、思わぬ事件が発生し、近隣住民は不安のどん底に落ち込んだことに端を発し、防犯意識が高まり、積極的に取り組むことになった。
- ③ 各戸に防犯ベルを配布、不審者の侵入徘徊を見つけたらベルを鳴らして、近所に知らせる。音を聞きつけた人は自分のベルを鳴らしながら集まって撃退する。
- 「向う三軒両隣り」つくりをすすめている。
- 防犯パトロール（昼・夜）の実施。声かけ運動。街灯の点検、取替え、増設などに力をいれ、住民の不安解消に努めている。
- ④ 兵庫県地域安全課の呼びかけに応じ「まちづくり防犯グループ」を立ち上げ、自主的な防犯活動に取り組む。
- 地域の見張り活動、児童の登下校時の見守り活動等である。さらに近隣自治会などとの防犯広報の交換を密にして効果あるものにしたい。
- ⑤ 住みやすい住環境を守るため、無法と思われるような建築計画には、業者と市建築課とに計画の見直しを迫るなど、環境保全に努め、また阪急今津線の踏み切りに歩道を確保すること。道路のガードレールの設置要望などにより高齢者・障害者・子どもの安全歩行に努める。
- ⑥ 多面的な意見を要領よく、わかり易くまとめられたこの「まちづくり計画書」は読みやすく、自治会員ひとり一人も意識を高めることができ、協力して活動に参加して頂くことができると思う。

この計画書づくりに努力されたコミュニティ西山の役員各位に敬意を表する次第である。

千種ヶ丘自治会 会長 水口義巳

千種ヶ丘自治会が前向きに取り組んでいることと、頭を痛めている事項をあげます。

（1）積極的な自主防災活動の推進

西山まちづくり計画策定委員会のアンケートで、不満率が断トツだったのが防犯対策でした。その実態を重く受け止め千種ヶ丘自治会では、昨（平成16）年12月「千種ヶ丘自治会防犯会」を結成し、犯罪の抑止と防犯の啓蒙を推進する体制を固めました。支給されたジャンパー・帽子・腕章・たすきの防犯グッズを着用し、4月から児童の下校時刻に、月2回

役員や班代表がパトロールをして警固や安全指導をします。また、有志があいさつを交しながら夜間巡回をしようと意気こんでいます。防犯講習会や防災訓練の参加者が増え、アトム110番も定着し、喜んでいます。

（2）良好な環境の保全に努める

自然に恵まれ閑静な丘陵地に居住する会員は、5年前に行政の支援を受けつつ地区計画制度を導入しました。まちは低層住居専用地域として、うるおいとゆとりのあるまちづくりを進めています。花とみどりの同好会は四季の花を育てサクラ並木の手入れにも余念がなく、一斉清掃日には若いも若きも作業服姿がよく似合います。家庭では、調和した配植をし庭周りに手づくりの鉢植を並べ、道行く人に花のあいさつを送るようになってきました。

（3）少子高齢化対策として

子ども会活動には、自治会から活動費を組み、行事にはできるだけ参加するように心がけています。一斉清掃には協働し、アート教室や新年お楽しみ会には会館が満席になりました。また、有志のボランティアがハロインパーティを計画したところ、75名ものちびっ子が仮装して誇らしげに歩いていました。自治会役員も趣旨に賛同し、ステーションを設けお菓子を渡して歓びを分けあいました。新しく今年度から出生児に将来を託す地域の宝として、自治会から出生祝いを贈り喜ばれています。

以前から福祉部が独り暮らしのお年寄りを会館に招きおしゃべり会として始まった行事が、現在トーカサロンとなりお茶とお菓子を前にしてひな祭り・クリスマス会等々、和気あいあいの居場所になるように心を配っています。

（4）荒地西山道路の路側帯拡幅について

幹線荒地西山道路（都市計画道路荒地西山線）を道路構造令により12mを18mに拡幅する計画は、平成8年着手以来再三市側から説明会や学習会をもたれてきました。しかし、良好な環境を誇りにしている住民にとって環境破壊は必至だと難色を示し、私有財産が損なわれる該当者には堪えがたく、到底承服できることでした。一方公共の利益を優先して施行しようと考える道路建設課の立場もあります。

自治会としては拡幅反対73%住民の意向を受けて、道路計画の見直しを求めて慎重に対応していく必要を痛感しています。コミュニティ西山は、組織・計画共に充実し、成果を上げられています。行政との連携もありますので道路問題の対処について、サポートしていただきたいと願っています。

宝梅自治会 会長 下野和啓

聖天さんから宝梅公園までの街の問題解決について推進案を述べさせていただきます。

（1）聖天さんの利用と行事について

朝のジョギング、礼拝、犬の散歩など住民の癒しの場所として貴重な場所。自治会行事として、夏の盆踊りと冬のファミリーウォーキングを実行している。

盆踊りは、寄付金の減少から来年の運営が困難になっているが、新しくできる「サンシティー宝塚」三百世帯の参加を勧め解決したい。

ファミリーウォーキングは自治会員のボランティアにより、運営資金とのバランスはとれているが、中心になっている近隣有志の少子高齢化により若者がいなくなりピンチを迎えている。解決策としては、自治会同好会組織を組み、キーマン養成をしていきたい。

力量からして、この二行事の存続維持だけにいたします。

（2）聖天通りの安全について

聖天通りは道幅が狭く、交通量も多いので、通行人が安全に歩けない点については、今回の大規模な開発に絡め、市役所の生活道路課や企業の協力を得て、側溝を塞いだり、歩道を造ったり、標識の数を増やして解決した。残る月見橋横の横断歩道と西山橋交差点の危険解消は、考えとして一方通行案を提案する。

（3）公園の環境維持について

宝梅二丁目第三公園・宝梅公園・宝梅小公園については、積極的利用を自治会が行うことを自治会として申請した。

第三公園・小公園はキーマンが設定でき、活動が始まっている。宝梅公園についてはキーマンが決まっていない。

公園のベンチ・玩具の塗り替えは公園緑地課に申請した。

（4）ゴミステーションについて

ゴミステーションの数が減って、空地などに追いやられ、開発による空地の消滅でのトラブル。新築戸建ての業者が専用ゴミステーションを設置しない問題が発生していたが、ゴミの有料化に先行して、住民の話し合いの場を作り対処する方策を定着化させる。

（5）光が丘行き最終バスの延長について

この事については、宝梅自治会から、以前阪急バスの営業所長と話し合いを持った。答えは、少ない客に大きな車を走らすことはできない。だから、タクシーに乗っていただくということであった。

光が丘の主張は「タクシーが高いので、バスを走らせろ。」ということであった。

自治会として、通行の邪魔をするつもりではなく、阪急バス実態が正しいと思う。会社も従業員に生活のために給料を払っているのだから。

具体的には上記のことを自治会として行いたいと思っています。

以上

宝南自治会 会長 水上和子

西山小学校区まちづくり計画書が、自治会はじめ、地域の各団体の方々からの協力とコミュニティ西山のご協力で、立派な冊子ができあがり心からお喜び申し上げます。私も微力ながら、まちづくり計画に参加できましたことを、うれしく思っております。

さて、宝南自治会は、東西1.5K、南北0.6Kの細長い、大きな自治会で、1,080世帯の会員がおられます。2丁目から4丁目はゆるやかな坂道になっていますが、交通量が多いにも関わらず道路が狭く、歩行者の安全の確保など課題をかかえています。5丁目、6丁目は急な坂道の多い地域で、計画書にも出ていますように住環境もよく、春は「桜道」の名のとおり桜が美しい所です。しかし現在高齢化が急速に進んでいる地区でもあり、アンケート結果にも出ていますように、高齢者が安心して住めるような、住環境整備が課題になっている地域です。

自治会でも「住み心地の良い、美しいまちづくり」を目指して、活動をしておりましたが昨平成16（2004）年の活動内容を紹介させていただきます。

- 永年の念願でした自主防災組織が、平成16年に結成され、指導者研修に3名が参加しました。
- 年末には、公園美化の為、野上ヶ丘・3丁目・5丁目の各公園の清掃を、年中行事に取り入れています。昨年は、26袋の落ち葉や雑草を集めることができ、きれいな公園に甦らすことができました。
- 9月の敬老の日には、70歳以上の方々にお祝いのお菓子を贈呈させていただきました。
- 自治会主催のバスツアーも皆さまのご要望により3回目を実施し、楽しい1日を過ごすことができました。
- 防犯の面では、宝塚警察署西山交番「ふれあいの会」に3名が参加し、実際にパトロールをしたり、啓発活動としてティッシュを配る体験をしています。防犯の関係もあり、要望のあったミラー や外灯の新設を申請しています。

防火訓練・公園清掃・交通安全・健康維持などの各種研修会活動に除除に参加者が増えて来ていますが、自治会をともに育てていただくために、行事に多くの会員の方々の参加を呼びかけています。これからもまちづくり計画書に添って、コミュニティ西山と協力し、住みよい・美しい町をめざして、がんばりたいと思います。

資料一 1 西山まちづくり計画策定委員会規約

（目的）

第1条 宝塚市が推進する「地域ごとのまちづくり計画」にかかる西山まちづくり計画（以下「計画」という。）を策定するため、西山まちづくり計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（定義）

第2条 この規約でいう西山小学校区とは、千種、野上3丁目～6丁目、宝梅2、3丁目、社町の一部、および塔の町の一部をいう。

（所掌業務）

第3条 委員会は、第1条の目的を達成するため、次に掲げる事項について調査・審議する。

- (1) 計画原案の作成に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか計画の作成に関し必要なこと。

（組織）

第4条 委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって構成する。

- 2 委員長は宝塚市西山コミュニティ協議会会長をもって充てる。
- 3 副委員長は宝塚市西山コミュニティ協議会副会長のうち1名をもって充てる。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故ある時は、これを代理する。
- 5 委員は、コミュニティ西山地域を構成する各種団体代表、住民代表及び公募委員等その他委員長が必要と認めるものをもって充てる。
- 6 委員の内、女性委員の比率は3割以上とする。

（会議）

第5条 委員会は、委員長が招集する。

- 2 委員会の議長は委員長をもって充てる。
- 3 委員会が必要と認めるときは、委員以外の関係者の出席を求め、その説明又は意見を聞くことができる。

（部会）

第6条 委員会に、第3条に規約する事項の検討を行うため部会を置く。

- (1) 部会は、委員会の事務を補佐し、計画の素案を作成する。
- (2) 部会は、委員会の委員をもって構成する。
- (3) 各部会に部会長及び副部会長を置く。
- (4) 部会長は、部会員を指揮し、部会の業務を掌握する。
- (5) 部会は、部会長が招集する。
- (6) 部会の協議・検討内容は委員長に報告する。
- (7) 部会長が必要と認めるときは、委員以外の関係者の出席を求め、その説明又は意見を聞くことができる。

(任期)

第7条 委員及び役員の任期は、第1条の目的を達成するまでとする。

(事務局)

第8条 委員会の事務局は、西山小学校内のウエル西山に置く。

(補則)

第9条 この規約に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会で定める。

附 則

(施行期日)

1 この規約は、平成16年 7月 3日から施行する。

(この規約の失効)

2 この規約は、委員会の設置の目的が終了した時点をもってその効力を失う。

資料—2 西山まちづくり計画策定委員会名簿

(敬称略、順不同 平成16(2004)年7月現在)

千種自治会	会長	松山 辰男	(コミュニティ西山広報委員)
千種ヶ丘自治会	会長	水口 義巳	(コミュニティ西山福祉委員)
宝梅自治会	会長	下野 和啓	
宝南自治会	会長	水上 和子	(コミュニティ西山学習委員)
中ヶ谷自治会	会長	細見 和三	(コミュニティ西山副会長)
逆瀬川ハイツ自治会	会長	野村 幸吉	
宝梅自治会	副会長	生嶋 恭子	(コミュニティ西山学習委員長)
宝南自治会	副会長	阪本 晴美	(コミュニティ西山広報委員長)
補導委員	南部 和子	(コミュニティ西山福祉委員)	
民生児童委員	金子 澄子		
校区人権啓発推進委員会	委員長	臼井 房雄	
西山小学校	校長	武田 義彦	
西山幼稚園	園長	藤井 由子	
西山小学校 P.T.A	会長	古川 美穂子	(コミュニティ西山事業委員)
西山小学校 P.T.A	副会長	寺田 小百合	(コミュニティ西山事業委員)
西山小学校 P.T.A	愛護部	福家 善子	
西山小学校 P.T.A	愛護部	矢野 豊美	
西山小学校 P.T.A	愛護部	小田 由佳子	
西山小学校 P.T.A	愛護部	杉原 三紀子	
コミュニティ西山	会長	大崎 裕子	(コミュニティ西山福祉委員)
コミュニティ西山	副会長	久保田 洋一	(コミュニティ西山学習副委員長)
コミュニティ西山	副会長	新藤 充宏	(コミュニティ西山広報委員)
コミュニティ西山	副会長	松岡 左知子	(コミュニティ西山広報副委員長)
コミュニティ西山	会計	梅山 久美子	(コミュニティ西山広報委員)
コミュニティ西山	会計	鈴木 真実子	(コミュニティ西山広報委員)
コミュニティ西山	会計	宮本 有子	(コミュニティ西山福祉委員)
コミュニティ西山	庶務	本山 宣子	(コミュニティ西山広報委員)
コミュニティ西山	理事	小藪 由美子	(コミュニティ西山事業委員長)
コミュニティ西山	理事	神田 尚彦	(コミュニティ西山事業副委員長)
コミュニティ西山	理事	竹谷 泰二	(コミュニティ西山福祉副委員長)
コミュニティ西山	理事	河本 和雄	(コミュニティ西山学習委員)
コミュニティ西山	理事	竹村 莞爾	(コミュニティ西山広報委員)

資料—3 西山まちづくり計画 策定の主な経緯

●平成 14 (2002) 年度

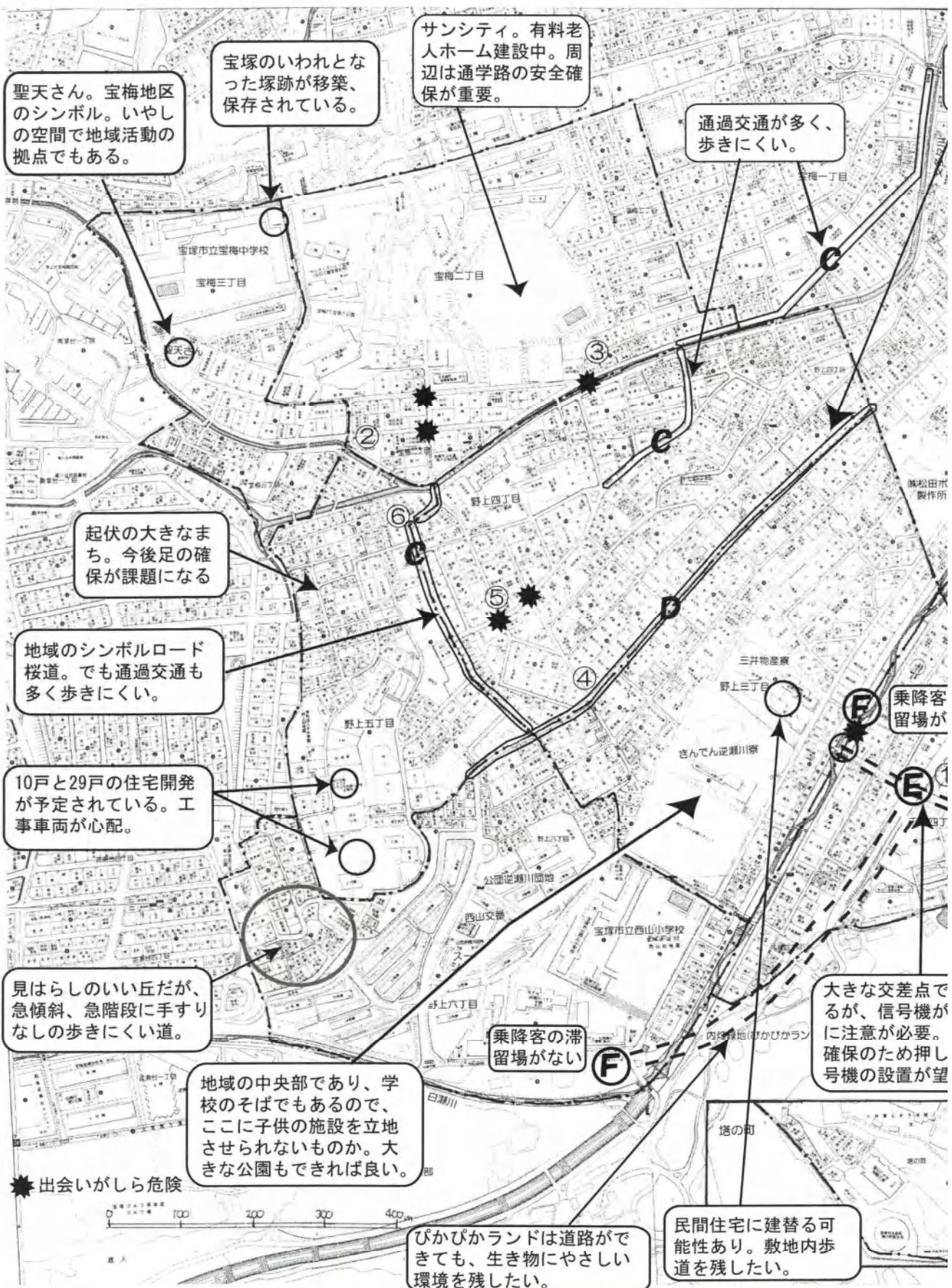
- ① 4月13日(土)拠点施設「ウエル西山」開設記念式典にてまちづくり計画策定のアナウンス
- ② 6月26日(水)：役員会にてまちづくり推進課から説明(約15名)
- ③ 7月20日(土)、10月20日(土)：まち歩き(千種地区、野上・宝梅地区)。(福祉の140人委員会による作業結果をもとに、補導委員2名も参加して情報交換・地図作成。)
- ④ 10月19日(土)：ふれあい西山まつりにてガリバー地図づくり(すきなところ・きらいなところ)。
- ⑤ 2003年1月14日(火)：役員会にて検討作業(福祉、環境保全、防犯・防災について課題を抽出)
- ⑥ 3月21日(金)：わいわいフェスティバル。地域内の主要ポイントを巡るクイズラリー実施

●平成 15 (2003) 年度

- ① 5月28日(水)コミュニティ総会にて計画策定の概要説明。
- ② 6~12月：「記憶に残そう昭和の西山」作成。地域の歴史に加え、現在の課題も一部抽出。
- ③ 8月23日(土)：「西山たんけん隊」(地域を知る多世代交流のとりくみ)。
- ④ 10月4日(土)：介護学習会
- ⑤ 10月19日(土)ふれあい西山まつりにて「クイズでポン」実施(地域を知るクイズ形式)
- ⑥ 2004年2月7日(土)：西山小学校PTCA事業「地域の安全性向上をめざした学習会」
- ⑦ 3月29日(日)：「和歌・わか・俳句ing」にて、地域の風景を俳句、和歌、川柳で募集(69点)

●平成 16 (2004) 年度

- ① 5月26日(水) コミュニティ総会にて計画策定の概要説明。
- ② 7月3日(土) 第1回西山まちづくり計画策定委員会 開催。
- ③ 7月~8月全世帯アンケート実施(回収率46.5%)。
- ④ 8月22日(日)「逆瀬川たんけん隊」(逆瀬川を知る多世代交流のとりくみ)
- ⑤ 9月18日(土) 第2回西山まちづくり計画策定委員会 開催。
- ⑥ 10月16日(土)ふれあい西山まつりにて「安心わがまちアンケート」、「丸太切り」実施。
- ⑦ 10月24日(日)ご近所ウォーキング(千種地区)
- ⑧ 10月27日(水) 第3回西山まちづくり計画策定委員会 開催。
- ⑨ 11月3日(水) ご近所ウォーキング(野上地区)
- ⑩ 11月8日(日) ご近所ウォーキング(宝梅地区)
- ⑪ 11月24日(水) 第4回西山まちづくり計画策定委員会 開催。
- ⑫ 2005年2月9日(水)第5回西山まちづくり計画策定委員会 開催。



西山小学校区 まちづくり課題マップ



西山まちづくり計画

平成 17 (2005) 年3月

西山まちづくり計画策定委員会

編集担当 宝塚市西山コミュニティ協議会（コミュニティ西山）

〒665-0022 兵庫県宝塚市野上 6-2-1 西山小学校内 ウエル西山
電話・ファクシミリ 0797-74-6825